

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	保育所等訪問支援事業 つくし		
○保護者評価実施期間	令和7年 11月 28日	～	令和7年 12月 12日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 18	(回答者数)	9
○従業者評価実施期間	令和7年 11月 28日	～	令和7年 12月 12日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 4	(回答者数)	4
○訪問先施設評価実施期間	令和7年 11月 28日	～	令和7年 12月 12日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数) 18	(回答者数)	9
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 12月 25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援を行う。	・園(学校)と家庭が情報を共有出来るように、面談の時間を定期的に取っている。 ・利用者の状況に応じて、頻度を調整している ・時間にゆとりをもって、情報を多く頂くようにしている	・連携会議などでも意見の提案、吸い上げを行う。
2	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援を行っている。	・PT、OT、STなどの専門職が対象児の状態に合わせて、アセスメントを行っている。 ・多職種連携して、2人のスタッフで訪問して情報を出し合う機会がある。	・保育士や公認心理師など、必要な場合にはアセスメントの機会を持つ。 ・SCERTSの研修などを通じて、園(学校)・家庭など共通して取り組める方針などを立てていく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保育所等訪問支援計画(個別支援計画)には、訪問先施設や担任等の意向の盛り込み。	・個別支援の出来ている事、苦手な事などへ盛り込んでいるが、明確に先生からの意見と記載しているわけではない。	先生方とも定期的な面談を行っている。目標などは、本人・保護者・先生方の意見も踏まえて立てているので、保護者への説明の際に丁寧に説明出来るように機会を持つ。
2	・家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会。	・法人としては実施しているが、事業所として上手く伝えられていない部分があるかもしれない。	令和7年度はペアレントプログラムの研修会を開催しました。その他、事業所、支援者、保護者向けに『自閉スペクトラム障害の子どもたちの為の包括的教育プログラム(SCERTS)』の研修会を実施した。R8年度も実施を検討している。
3			